

【南九州地区納税貯蓄組合連合会会長賞】

支え合える日本へ

日南市立飢肥中学校

三年 日高 綾音

税には多種多様なものがあります。例えば、今の私にもっとも身近なもので消費税、他にも所得税や市民税、所有してもなお税金が必要となる自動車税に固定資産税、あらゆるものに課税されています。では、なぜ私達は税金を納めるのでしょうか。それは「法律で決まっているから」です。国民の義務として憲法に定められています。そのため私は、大人として社会に出ても深く考えることなく、当たり前として税金を納め、生活を送っていくことと思います。この当たり前であるがために、税金が私達の生活にどのように関係し、重要視されているのかを、今まで深く考えずに生活してきました。これを機に、税金に対する知識を深め、今一度納税に対する意識づけを明確にしていきたいと思います。

そこで、私は医療費における税金の役割に目を向けてみました。今年二月、家族は新型コロナウイルスに感染してしまいました。その際、PCR検査を私達家族は計十一回、検査していただきました。その後、買い物に行くことができないため食糧物資も配達してもらいました。療養期間を終えるまで、自己負担なく過ごすことができました。私達は自宅療養でしたが、もし入院となれば、入院費も必要となるはずでしたが、コロナの場合は、危険度の高いもの扱いになっているため、これら医療費全てが公費で負担されるようになっているのです。そのため、安心して回復に努めることができました。これも全て今、税金を納めてくださっている方々がいて、それをきちんと使える制度が成り立っているからこそだと思っています。

現在の日本は十分な税収入を確保できません。それは少子高齢化に伴い、様々な問題が浮き彫りになっているからです。税収入を増加させることへの解決策を考えるには、まだまだ知識不足な私ですが、これから社会活動を担う大人になるために、税金の納め方への意識を変えようと思います。

私達家族は、税金に助けていただきました。これは社会が、国民一人一人が支え合いながら成り立っているからこそだと思います。当たり前前に、義務として納めている税金ですが、よくよく考えてみると、自分達の生活の基盤を築いているものなのです。正直、買物をすれば消費税、働いた対価で得られる給料からも所得税などの様々な税金が引かれるため、「あーこんなに税金で引かれるんだ。」と思ってしまいかもしれません。しかし、この考え方は間違っていると、今回気づかされました。税によって支えたり支えられたりする意識を持ったうえで、私は「当たり前」に税金を納めていきます。